



図5.13 要素Aによる要素Cへの制御が矛盾するインコヒーレントなFFLの例

(a) 要素Bは要素Cの発現に対して時間遅れのブレーキになっている。(b) 要素Aによるアクセルと要素Bによるブレーキを上手に組み合わせると、太い実線が示すように早く目標値に近づける。これに対してフィードバック制御のみの場合、破線が示すように目標値に達するまで時間を要する。